

菅野 仁 (KANNO Hitoshi)

1960年、宮城県仙台市生まれ。東北大学文学部卒。専門は、社会学思想史・コミュニケーション論。

G. ジンメルや M. ヴェーバーといった社会学形成期の社会学者の理論の現代的意義を検討。

1989年、東北大学大学院文学研究科社会学専攻博士課程単位取得。東北大学文学部助手、青森公立大学経営経済学部助教授、宮城教育大学教育学部助教授などを経て、現在、宮城教育大学教育学部教授。

現在は、専門研究から得た知見をベースに、「社会を考えること」が私たちにとって、今、どんな形で必要とされているのか、私たちが「自分の問題」として社会について考えるためには、どんな物の見方をしたらよいのかなどについても考察している。こうした問題を「私から「社会」へのルート探し」と呼び、そして「コミュニケーション不全」「センシティブな自我」といったキーワードを手がかりに、さまざまな人びととともに考察を深めている。

サブテーマとして、東北農村を中心に農村家族や地域興しの現状などについて、聞き取り調査を中心にしたフィールド・ワークを行っている。

主要業績

論文

- ・2006, 「現代社会におけるコミュニケーション問題への基礎視角 ジンメル「よそ者」論のコミュニケーション論的位置づけ」『九州コミュニケーション研究』第4号.
- ・2006, 「ジンメルの視点からみた「地域活性化事業」 異邦人としての福島県昭和村・織姫」『ジンメル研究会会報』第11号.
- ・2006, 「伝統技術工芸の伝承と地域社会 苧麻を素材とした織物生産の事例」『福島大学地域創造』第17巻第2号.(共著)
- ・2003, 「私から「社会」へ 社会学的「教養」としてのジンメルの可能性」『ジンメル研究会会報』第8号
- ・2000, 「コミュニケーション問題としてのほんとうの私探し - G. ジンメルの「自我論」に依拠しながら」『社会学研究』第67号.

単著

- ・2005, 『愛の本 韓国語版』(弘益出版社).
- ・2004, 『愛の本 他者とのつながりを持って余すあなたへ』PHP研究所.
- ・2003, 『ジンメル つながりの哲学』NHK ブックス.

共著

- ・2006, 『いまこの国で大人になるということ』紀伊国屋書店.
- ・1998, 『はじめての哲学史』有斐閣.
- ・1997, 『現代社会学とマルクス』アカデミア出版会.
- ・1996, 『「近代」と社会の理論』有信堂.
- ・1995, 『行為と時代認識の社会学』草風社.

調査報告書

- ・2006, 『伝統工芸技術をテーマとする「地域活性化事業に関する社会学的研究」(平成 16-17 年度科研費(基盤研究 C))』.(共著)
- ・1997, 『昭和恐慌期・戦時体制期における村落と農民支配に関する実証的研究』(平成 6-8 年度科研費(一般研究 C))』.(共著)
- ・1995, 『東北における女性の進出の促進に関する調査研究報告書 東北の女性の就労について』(財)東北研究開発センター . (共著)
- ・1995, 『地域社会と生活リアリティ 青森県平賀町内一集落の事例』青森公立大学地域生活研究会 . (共著)

リンク

- ・[現象学研究会](#)
- ・[宮城教育大学](#)
 - ・[教員紹介 菅野仁](#)

研究カテゴリ